

名古屋いのちの電話



発行事務局 「名古屋いのちの電話」設立準備委員会
 名古屋市昭和区川名山町56
 聖霊病院 マリヤ館
 TEL. <052> 833-0586
 振替 名古屋1-53758
 発行責任者 塚田 道生

No. 0 (準備号) 1984. 6.

「名古屋いのちの電話」開設に向けての長い準備は第一段階を終えて、ようやく第一期電話相談員の養成を始めることができました。この働きを支え、呼びかけにこたえてくださった多くの方々に心から感謝いたします。

最近の報道によりますと、中高年令層と十代の自殺が増えているという事です。物質の豊かさの反面、社会構造の複雑化、合理化にともない、悩みはいつそうこみいったものになり、人間的な心の触れ合いを失い、信頼できる友がいなくなっています。

このような時代にこそ、いのちを大切にし、人間的やさしさと、心の通い合うような気持を持って、共に喜び、共に悲しむことのできる友となる電話相談の働きが求められているのではないのでしょうか。

第一期相談員の募集を始める時は、果して定員五十名を満たすだけの人数が集まるかどうか、最後まで心配しました。締め切り直前になって多数の応募があり、最終的には二・四倍に達して、最終的に頭を悩ますという結果になりました。今回、第一期に加われなかった方には申し訳ございませんが、

次回に、また賛助会員などの形で御協力をお願いいたします。

応募の動機やボランティアを決意するに至るまでの人生の歩みは全員違ってきます。しかし、そこに共通するものがあることに気づかされました。それは自分が味わ

第一步をふみ出して

準備委員長
 塚田 道生

った苦しい思いと、そこから解放された体験を基に、未だ悩み、苦しむ人と共に分かち合いたいというやさしい心です。どんなに熟練した専門家も、一人一人の心の友となつて聞き、共に分かち合うことに徹することはできないでし

よう。これこそ「いのちの電話」ができる特質であり、責任ではないでしょうか。

この「いのちの電話」の働きは、民間のボランティアと協賛会員によって、活動と財政のすべてが支えられています。まだ端緒についたばかりですが、多くの方々の御理解と御支援を心よりお願いいたします。

いのちの電話関係文献

- ・いのちの電話編「いのちの電話―電話相談の理論と実際」 学事出版
- ・レスタター編「電話カウンセリングの技法と実際」
- ・(多田 治夫訳) 川島書店
- ・いのちの電話「九州」編「自殺予防の実際活動―危機介入をめぐって」 星和書店
- ・育藤友紀雄「電話相談と危機介入」 聖文舎
- ・ウイカー「いのちの電話物語」(大島静子訳) 聖文舎
- ・ライオン編「孤独な心を支える」(関西いのちの電話訳)
- ・稲村博、林義子編「眠らぬダイ
- ・斎藤友紀雄「いのちの電話」新曜社

何故、私はいのちの電話にかかわるか

音藤 延 校

昨年十月三日、私は名古屋いのちの電話設立準備会に初めて出席した。私は呼びかけ人の代理だから、ただ話を聞いて伝達すればよいという単純な意向で会に臨んだ。初めに、この集まりの目的が話された中で「私たちのすぐ近くには、さまざまな問題に直面して悩み、苦しんでいる人たちがたくさんいます。その人たちの中には相談相手がなく精神的危機に追い込まれ、遂に自殺する人が増えていきます。このような人達の隣人とはだれですか。私たちキリスト者はよい隣人になるために何をしたらよいのでしょうか。」ここまで聞いて私は一瞬、胸がしめつけられる思いがした。丁度、この日の聖書の福音は「よきサマリヤ人」のたとえ話のところであり、朝これを読んで自分自身の日々の生活を省み考えていた矢先であったから……

「キリストは集まった人たちに、もつとも大切なおきては何かとの質問に答えて「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くしてあなた

の神である主を愛せよ。また、隣人をあなた自身のように愛せよ」と言った。すると一人の律法の専門家が「わたしの隣人とはだれですか」と言った。イエズスはこれに答えて仰せになった。「ある人が旅の途中、強盗におそれ半殺しにされた。そこへ一人の祭司が通りかかったが、その人を見て道の向こう側を通って行った。また同じく一人のレビ人がそこを通りかかったが、その人を見ると道の向こう側を通って行った。ところが人のそばまで来て見て哀れに思い傷口に油とぶどう酒を注ぎ包帯をしてやった。それから、自分のろばに乗せて宿屋に連れて行き介抱した。その翌日、サマリヤ人はデナリ二枚を出して宿屋の主人に渡し「この人を介抱してください。費用がもつとかかったら帰って来た時に支払います」と言った。さて、「あなたはこの三人のうち、だれが強盗におそわれた人に対して隣人としてふるまったと思うか。」

律法の専門家が「あわれみをほどこした人です。」と言うとイエズスは「あなたも行って同じようにしなさい。」と仰せになった。(ルカ一〇・三〇―三七)

この聖書に書かれているような気の毒な人に私は出会っているのだろうか。さまざまな問題をかかえているこの社会に自分が生きていくなら、ほんとうにひとりぼっちで悩み、苦しんでいる人に出会っているはずだ。このよきサマリヤ人のような行ないをしていないと思う私は、今まで何をしていたのだろうか。

かつて、私の周囲でも、私にとって身近な人が突然自殺した。社会的地位もあり、財産もあり、家庭的にも恵まれ、外部的には大変幸福な生活をしているように見えたのに、何故自殺したか、家族も友人も、職場の人たちも全くその理由を見つけることができなかった。また、職業婦人であり、主婦であり、まじめによい仕事をしながら子どもを育てあげ、これから自分の望むように生きられるという時に自殺した。この人についてもよく知っていたので、まさか……、こんなことで……、どうして

……と。自分が何もできなかったことを悔み、悲しんだこともあった。

このように、私は今まで苦しんでいる人や悩んでいる人、生きる希望を失いかけている人に度々出会っていたのに、この聖書の話の通り、「その人を見て、道の向こう側を通って行った」一人なのだと気づき非常に心が痛んだ。このよき人の隣人として何をしたらよいか、答ははつきりした。

私は、呼びかけ人の代理という消極的な参加ではなく、ここに集まった献身的な人たちと一緒に、私の心、私のからだ、私の力を尽くして、この東海地区の中心である名古屋にいのちの電話が開局されるように協力すること。そして、どんな人も、一人ひとりがいのちを大切にし、ほんとうの意味で生きる道を見出すまで、よき隣人となるように自分も生きること。こうして、いのちの電話の関わり

の第一歩がふみ出された。

今日も「自殺二三七人も、揺れる小・中・高校生。原因不明、家庭不和、病める社会……」などと新聞(五月二十日中日新聞)の大文字の見出しに心が痛む。

「いのちの電話」

との出会い

須藤 よし子

濃き緑、うすき緑のさわやかな自然の恵みに、心安らぐひとときも、様々な問題に悩んでいる人々に特に自殺を考えている人には、儚ない自然の様としか映らないのだろうか。

私がいのちの電話のことを知ったのは、六・七年前のことで、東京いのちの電話相談員をしていた知人からでした。参考資料など送ってくださったのですが、名古屋には「心の電話」が開設されていたので思い倦んでいたこと、他の活動に追われている内に幾月は過ぎていきました。

このたび呼びかけを受けて、準備委員のメンバーとして参加させて頂きました。経済成長にもない物質指向が強くなり、心と心のふれ合い、隣人とのあったかい交わりなどが薄くなって、自己主張と権利意識が幅をきかせています。

生きる目的も価値感も学歴や、

職種で区別され易くなって、ひょうひょうと生きることがむづかしい。また離婚の増加は弱い立場の子供の心を情緒不安にさせ、自殺も小中高校生で五十八年には二百三十八人もなっている。レジャー物質指向がサラ金の悲劇を生み親心中心が後を絶たない。このような病める社会現象と、私たちはどのような関わりをもつのか、生きるよろこびと希望をどのように伝えていけるのか、大きな課題をなげかけられています。テレホンと言う限られた対話を通して、病める人、孤独な人のよき隣人となることが出来たらと、みなさんと共に第一歩をふみ出して行きたいと願っています。



(ハンガリー)

質問箱

Q 「いのちの電話」はいつ頃はじまったのですか。

A 「いのちの電話」には二つの源流があります。一つは、一九五三年に英国国教会の牧師であったチャド・バラリーによって、ロンドン

で始められた「サマリタンズ」の運動。「サマリタンズ」とは新約聖書の「よき隣人」という意味で文字通り、孤独のなかで絶望し、自殺すら考えている人たちのために、よき隣人として話し相手になる、友だちになる（ピフレンディング）ことが、この運動の特色であり、面接を重んじている。

もう一つは、一九六三年、オーストラリアの著名な牧師であるアラン・ウォーカーによって開設された「ライフ・ライン」である。ライフ・ラインとはもともと潜水夫が海中にもぐる時に使う「いのち網」のことである。「ライン」は電話線の意味があり、これはまさに「いのちの電話」と訳すことができる。日本のいのちの電話はこのライフ・ラインから、名前ばかりでなく多くの影響をうけている。二十四時間体制の電話相談が

中心である。ライフ・ラインは二ユージーランド、アメリカ、カナダ、台湾、日本、韓国、などの環太平洋地域の諸国と南アフリカに広まり、ことにアメリカ合衆国の「コンタクト」はこのうちの最大である。

日本では一九七一年十月一日東京に発足した。続いて一九七三年に関西いのちの電話が誕生し、以来続々と各地に設立され、本年四月現在一六都市一七電話が活動しボランティアも二千名に達する。一九七七年に日本のちの電話連盟を結成している。国際ライフ・ライン（本部事務局はカナダ・トロント）には加盟していない。それは国際ライフ・ラインが「キリスト者の運動」と規定しているのに対し、日本のちの電話連盟は、お互いの思想、信条の自由を尊重し、幅広い市民運動として活動していくことを願っているからです。



(フランス)

自殺予防学会傍聴記

清島恒徳

五月十二日、東京で開催された日本自殺予防学会を傍聴した。この学会は、関連するさまざまな分野の専門家の集りという学際的雰囲気と、学生、主婦などの一般市民も出席する自由な雰囲気がいりまじっていた。会議の準備・運営は「いのちの電話」ボランティアが担当しているらしく、受付付近には「いのちの電話」同窓会的雰囲気もただよっていた。

今年のテーマは「心中」。心中が日本的な現象か否かをめぐって海外からの研究者をも交えての発題と討論がおこなわれた。アメリカ人研究者が、「日本人は何故、「無理心中」というのか。これは心中ではなく、他殺をともなつた自殺ではないか」と問うていたのが印象に残った。最近ではサラ金苦による一家無理心中が続発しているが、英字新聞はどう表現したらよいか困るという。
いづれにせよ、自殺も心中も、複雑な現代社会の諸要因によっておこされる社会病理現象であることはまちがいないのである。

募金報告 (1984年5月28日現在)

●賛助会員

- A (年額1口10,000円)
菅原美恵子 津田 富子 志村 信夫 高本 紀子
加納 静恵 高峯 周 明比輝代 彦 牧岡 恒夫
加藤みゆき 山下 政一 塚田 道生 日比野かづヲ
原 智津子 清島 恒徳 合計 14口 140,000円
- B (年額1口 5,000円)
早川みどり 市村 道子 小島みはな
合計 3口 15,000円
- C (年額1口 3,000円)
中根 瑞枝 戸田 伊助 細井けい子 志村 恵
岡田 恭子 合計 5口 15,000円

●後援会員

- 齊藤友紀雄 20,000 豊山教会婦人会
3,000 愛知教会つばみ会 10,000
レデンプトール会修学院 10,000
鳴海教会婦人会 5,000 聖心布教会
10,000 聖心会本部 50,000 南山教会
婦人会 3,000 恵方町教会 5,000
小牧カトリック教会 5,000 名古屋東
教会 25,000 カトリック修女連 2,000
合計 148,000円 募金総額計 318,000円
(募金報告に報告もれ、あやまりがありましたら、
申し訳ありませんが、事務局へお知らせ下さい。)

募金のお願

「名古屋いのちの電話」は、他の社会福祉事業や電話相談事業とは違って、公的補助を受けないボランティア運動とし準備しています。

電話センター借室料、機械類の保守管理、電話相談員の訓練、精神科医療面接、広報等の事業費として、開局時(一九八五年六月の予定)には、一千万円の運営資金が必要です。

限られたわずかな団体や個人、あるいは募金だけによって運営されるのは好ましくないと考えています。「いのちの電話」は広範囲な人びとの支援による運動でなければならぬと信じます。

賛助会員(年間一口)

A 一万円 B 五千元 C 三千元

後援会員

通常献金、夏期・クリスマス、歳末献金 (額は定めません)

郵便振替 名古屋一―五三七五八

名古屋いのちの電話
(ご送金は同封の振替用紙をご利用ください。払込料は無料)

◇事務局だより◇

いよいよ電話相談員の訓練が始まりました。「東京いのちの電話」総主事の斉藤友紀雄氏を囲んで、数人で話をうかがうてから一年足らず。まるで夢のようです。相談員に応募してくださった方々に心からお礼申し上げます。◆事務局といつても、机と椅子、電話、本棚、お茶の道具。いづれも善意により借用しているものばかり。事務局員はボランティアが交替で事務をとっています。(午前十時から午後四時まで。土曜日・半日。日祭日休み)◆今号は正式発刊に向けての準備号です。編集に慣れない者ばかりですので、読みづらいことと思います。広報編集の得意な方、ぜひご二報ください。皆でつくりましょう。◆訓練担当委員はホツと一息ついていますが募金担当委員は頭をいためています。募金目標額に対して現在三%の達成率です。◆ともあれ、「名古屋いのちの電話」が第一歩をふみ出したことに、乾杯。(K)